

学習内容報告書 フォーマット

学校名	福岡県宗像市立赤間西小学校
授業者	主幹教諭 若杉 大輔

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

守ろう！宗像の海！～われら、釣川調査隊！～

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科 総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

社会科の学習「水はどこから」との関連を図り、生活に欠かせない水の行方を振り返りつつ、宗像市にある沖ノ島にゴミが流れ着いている現状を知り、学習課題を設定する。課題解決のため、宗像市の環境保全団体、海女さん、市役所からの協力を得て、宗像の海を守るため、SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的な方策を、主体的に解決しようという子どもを育成していくとともに、世界遺産のある宗像への愛着をもたせる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

宗像市を流れる2級河川である釣川を教材化し、宗像市への思いを強くさせるだけでなく、釣川河口に集まっているゴミが玄海灘へ出ていき、沖ノ島周辺まで押し寄せ、生き物までに被害を及ぼしているという事実から、宗像の海を守っていききたいという思いをもたせたい。子どもたちにとって、日常生活で出ているゴミの処理方法は学習しているが、世界遺産である沖ノ島まで流れ着いている事実や、マイクロプラスチックを食べた生き物が被害を受けている事実を知ること、より切実感のある課題意識をもたせることができる。沖ノ島は、世界自然遺産で登録されているにも関わらず、自分たちが出しているゴミによって被害を受けていることを知り、より世界遺産である沖ノ島を守っていききたいという思いをもたせることもできる。そして、世界遺産がある宗像への愛着ももたせていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 宗像市を流れる釣川や世界遺産「沖ノ島」について、資料を調べたり、専門家や海女さんにインタビューしたりする活動を通して、沖ノ島の自然は宗像大社を中心とした地域の人々の努力によって守られてきたこと、自然豊かな沖ノ島にも漂着ゴミの問題があることを理解することができる。【知識及び技能】
- 友だちや沖ノ島に関わる人々との対話的な活動を通して、世界遺産「沖ノ島」の価値や宗像の海をどのように守っていくかについて考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 釣川と世界遺産「沖ノ島」の学習を通して、宗像への誇りや愛着を育むと共に、これから沖ノ島を守っていくという意欲をもつことができる。【学びに向かう力、人間性等】

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>(1) 社会科の学習を振り返り、自分たちが使った水はどこからきているのか、どこへ行くのかを具体的に想起し、宗像市の特徴について知る。</p> <p>(2) 宗像市にある沖ノ島にゴミが流れついていることや、沖ノ島周辺に生息する生き物がマイクロプラスチックを体内に取り込むことで被害を受けているという現状を知り、これからの学習課題を設定する。</p>	<p>※宗像市の概要を俯瞰することができるように、パナソニック作成のソフトを活用する。</p> <p>※市内の水の流れを源流から河口までを俯瞰させ、釣川が宗像の中心を流れていることをつかませる。</p> <p>※釣川から流れた水が海に入り、ゴミが沖ノ島に集まっていることをシミュレーションで確認させ、何とかしなくてはならないという思いをもたせ、学習課題を設定させる。</p> <p>◇宗像市都市計画課・パナソニック作成ソフト</p>
8	<p>(3) 水辺教室（むなかた水と緑の会）を行い、釣川の源泉や河口の様子をフィールドリサーチしたり、山田ホテルの里公園で水中生物を観察したりする。</p>	<p>※フィールドリサーチを通して、宗像は自然豊かな地域であり、釣川と関わりが深い地域でもあることに気付かせる。</p> <p>※河口でゴミ拾いをさせることで、ゴミ（マイクロプラスチック）が多いという現状にも気付かせる。</p> <p>◇水辺教室（むなかた水と緑の会主催）</p>
2	<p>(4) 海の道むなかた館の学芸員さんから、宗像にある「沖ノ島」の歴史や世界遺産に登録されたことの経緯を聞いたり、宗像の海や沖ノ島周辺で漁をしている海女さんに海の現状や沖ノ島に流れ着いている漂着ゴミについてインタビューしたりして、海女さんの思いや願いについて知る。</p>	<p>※沖ノ島は自然が豊かであること、その自然が守られていることを知り、守っていききたいという思いをもたせる。</p> <p>※回収したゴミの量や種類を見ることで、海女さんの思いに応えるような活動をしたいという思いをもたせる。</p> <p>◇GT 海の道むなかた館学芸員、宗像の海女ちゃん</p>
1	<p>(5) 宗像市役所環境課の方から、小学生にもできることを聞き、自分たちができることを具体的に決める。</p>	<p>※宗像市役所環境課の活動やSDGsの取組を知り、自分たちにもできることや啓発方法をGTとともに決めさせる。</p> <p>◇GT 宗像市役所環境課</p>
3	<p>(6) 宗像の海を守る方法ができる方法を啓発するために、グループで取り組む。</p>	<p>※これまでのGTの話（得た情報）を整理するために、ピラミッドチャートを活用し、何のために、何をするのかを明確にさせる。</p> <p>※主体的に取り組むことができるグループ編成を行い、活動をさせる。</p>
8	<p>(7) グループごとに取り組んだことを発表し、宗像の海を守る方法を啓発する。</p> <p>(8) これまでの学習を振り返り、自分の頑張りや成長を味わう。</p>	<p>※授業参観やコミュニティ・センターを活用し、宗像の海を守るためにできることを、保護者や地域の方に発表させ、たくさんの人に知ってもらう場を設ける。</p> <p>※自分の成長を味わわせたり、宗像への愛着をもたせたりする。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

宗像市にある沖ノ島に漂着ゴミが流れ着いているということ、漂着ゴミやマイクロプラスチックを食べて死んだ鳥やウミガメの写真を見て、「自分たちが何とかして宗像の海を守らなくてはいけない」という思いをもつことができる。【学びに向かう力、人間性等】

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 宗像市を流れる釣川の流れをもとに、宗像市に世界遺産の沖ノ島があることを知り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 釣川を辿っていくと、海に出たよ。先には、大島があって、もっと遠くには沖ノ島があるよ。世界遺産になっているんだよね。</p> </div>	<p>※ パナソニック作成のソフトを使って、宗像市を流れている釣川の流れを確認し、海に流れ出ていること、疎の先には大島や沖ノ島があることに気付かせる。</p> 
<p>2 沖ノ島には、たくさんの植物や生き物がいることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 見たことのない植物もあるよ。自然が豊かな島なんだね。</p> </div>	<p>※ 沖ノ島は、自然に恵まれているという自然環境をつかませるために、子どもたちに電子黒板を操作させる。</p> 
<p>3 ゴミが沖ノ島に流れ着いていることや、マイクロプラスチックを食べて死んだ鳥の写真を見て、考えたことを話し合い、学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ シミュレーションを見てみると、ゴミが沖ノ島に流れ着いているよ。宗像から流れているのかな。ゴミだらけじゃないのかな？</p> <p>○ 死んだ鳥の中から、ゴミが出てきたよ。もしかして、流れ着いたゴミを餌と思って食べてしまったのかな？</p> <p>○ このままではダメだよ。何とかしないと…。</p> </div>	<p>※ 沖ノ島に流れ着くゴミのシミュレーション映像を見せ、沖ノ島の自然環境が悪くなっていることに気付かせる。</p>  <p>※ 流れ着くゴミだけではなく、マイクロプラスチック等のゴミを食べて死んでしまった鳥の写真を提示することで、自分たちが何とかしなくてはいけないという思いをもたせる。</p> 
<p>4 本時学習の振り返りを行い、次時学習への見通しをもつ。</p>	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

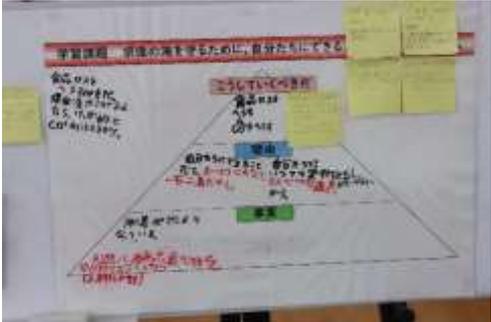
単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

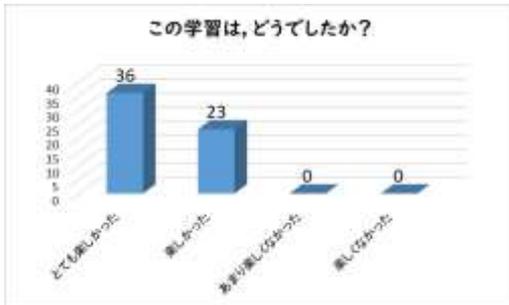
これまでの学習で学んだことをグループでピラミッドチャートを使って整理し、これから実行していく方法を具体的に考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】

2-3. 本時の展開

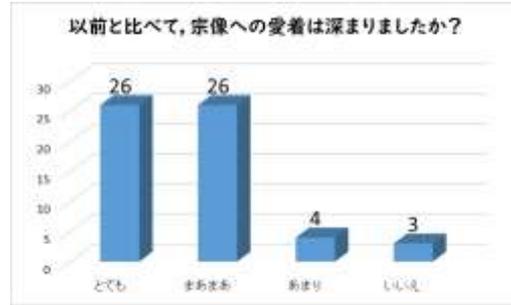
主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 前時までの学習を振り返る。</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>2 グループで考えを出し合いながら、主張・理由・根拠を整理したり、他のグループの発表を聞いたりしながら、自分に合ったより良い考えを見つける。</p> <p>(1) グループで考えを出し合いながら、グループの主張、その理由、判断した事実をピラミッドチャートに整理する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ エコな生活を送るように、ポスターを書けば良いと思うよ。だって、上村さんが言っていたから。地球温暖化も防ぐことができるから。</p> </div> <p>(2) 他のグループの発表を聞きながら、自分に合った実現できそうな良い考えを見つけ、学習プリントにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ ポスターを書くだけでは足りないと思うから、出来たポスターを放送で説明すると、もっと伝わると思うよ。</p> </div> <p>3 本時学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ 勉強してきたことが整理できたので、次の時間からは実際にポスターを描く内容を決めたり描いたりしていきたいな。</p> </div>	<p>※ 子どもの具体的な方策を例示し、その理由や根拠を尋ね、曖昧な答えを聞いたり、混沌とした思いをもたせたりすることで、本時学習のめあてにつなげさせる。</p> <p>※ 考えを可視化・具体化・構造化できるピラミッドチャートを用いて、グループの考えをつくらせる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※ ピラミッドチャートには、考えの過程が分かるように色を変えたり、矢印を使ったりして、整理させる。</p> <p>※ 発表は、ピラミッドチャートの上位から順に説明させ、その理由、そう判断した事実も加えて行うようにする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※ 次時は、グループ編成を行い、活動計画を立てたり、役割分担をしたりしていくことを伝え、学習の見通しをもたせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

○ 【資料1】にあるように、学習を通して、子どもたちは総合的な学習の時間を楽しく進めることができました。具体的には、切実感のある学習課題を位置付けて、子どもたちに学習意欲が単元末まで継続するように手だてを講じたことが有効であったと考える。また、【資料2】にあるように、宗像への愛着が高まった子が多くいる。このことは、学習の対象が身近であるということ、「自分たちの宗像の海を守らなくては…」という切実な問題であることが有効であったと考える。



【資料1】



【資料2】

4. 今後の課題

- 子どもたちにとっては、「世界遺産がある宗像の海を守りたい」という思いで学習を始めていったが、実際に4年生の子どもたちができる取組は、宗像市役所環境課の方に来ていただいたが、やはり限定されたものであった。具体的には、「食べ残しをゼロにすれば、地球温暖化を防ぐことができる」という論理も、メモはしているが、実際に理解している子は多くないと感じた。4年生なりの啓発活動の具体例を明らかにしていくことで、子どもたちの活動の幅が広がっていくと考える。
- 宗像市が取り組んでいる世界遺産学習の系統性をより明確にして、市内のどの学校でも、この取組が実践されるように取り組んでいく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

○ めざす子どもの姿に到達させるためには、学習課題を「子どもたちが本気になれるもの」「何とかして解決しなくてはいけないもの」「宗像への愛着をもたせるようなもの」とする必要がある。また、子どもたちが予想する学習活動をあらかじめ想定しておき、GTを招聘しておくこと、啓発の場を想定しておくこと等の準備が必要となってくる。実現可能な啓発活動を想定しておくことが大事である。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。